

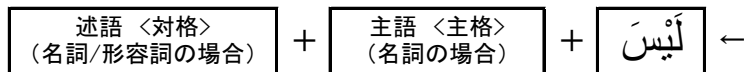
●laysa の活用

名詞文(現在)を否定する時は、لَيْسَ laysa(～ない) という語を使います。laysaは、完了形と同じ人称活用(語末変化)する動詞ですが、人称に応じて語幹もやや変化します。未完形など他の形はありません。

	単数	双数	複数
3人称・男性	لَيْسَ laysa	لَيْسَا laysā	لَيْسُوا laysū
3人称・女性	لَيْسَتْ laysat	لَيْسَتَا laysatā	لَيْسْنَ lasna
2人称・男性	لَسْتَ lasta	لَسْتُمَا lastumā	لَسْتُمْ lastum
2人称・女性	لَسْتِ lasti		لَسْتُنَّ lastunna
1人称	لَسْتُ lastu		لَسْنَا lasnā

●laysa の用法

laysa を用いて名詞文を否定する場合は、以下の構文をとります。述語が対格となる点に注意してください。主語と動詞の一致については、一般的な動詞と同じです。



- الطَّالِبُ مُمْتَازٌ . その学生は優秀だ。<肯定>
- لَيْسَ الطَّالِبُ مُمْتَازًا . その学生は優秀ではない。<否定>
- هِيَ لَطِيفَةٌ . 彼女は親切だ。<肯定>
- لَيْسَتْ لَطِيفَةً . 彼女は親切ではない。<否定>
- لَيْسَ الطُّلَّابُ مُمْتَازِينَ . その学生たちは優秀ではない。<否定>
- النِّسَاءُ لَسْنَ مِنْ مِصْرَ . その女性たちはエジプト出身ではない。<否定>

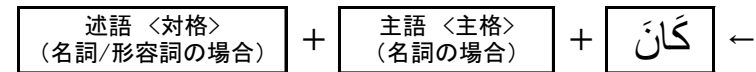
●kāna の活用

名詞文を過去にするには、كَانَ kāna という動詞を使います。kāna は、「ある、存在する」という意味の動詞(間弱動詞・語根はk w n)です。やや不規則な活用をしますが、非常によく使われる動詞なので、このままおぼえましょう。

	単数	双数	複数
3人称・男性	كَانَ kāna	كَانَا kānā	كَانُوا kānū
3人称・女性	كَانَتْ kānat	كَانَتَا kānatā	كَانْنَ kunna
2人称・男性	كُنْتَ kunta	كُنْتُمَا kuntumā	كُنْتُمْ kuntum
2人称・女性	كُنْتِ kunti		كُنْتُنَّ kuntunna
1人称	كُنْتُ kuntu		كُنَّا kunnā

●kāna の用法

①名詞文(過去)の繫辞(つなぎ言葉)として、「～だった」を表す。



- الطَّالِبُ مُمْتَازٌ . その学生は優秀だ。<現在>
- كَانَ الطَّالِبُ مُمْتَازًا . その学生は優秀だった。<過去>

②後ろに未完形(直説法)をしたがえ、過去の習慣や進行を表す。

كَانَ الطَّالِبُ يَشْرَبُ الْقَهْوَةَ . その学生はコーヒーを飲んでいて。<過去の習慣・進行>

③後ろに完了形をしたがえ、過去完了を表す。

كَانَ الطَّالِبُ شَرَبَ الْقَهْوَةَ . その学生はコーヒーをすでに飲んでいて。<過去完了>